

2009年3月期決算説明会

2009年5月13日



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

見通し等に関する注意事項

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

2009年3月期 連結業績

減収減益(前期比)

■売上高:

- ◆デバイス事業: 主要顧客の減産の影響などにより大幅減収
- ◆システム機器事業: 小売業の設備投資抑制の影響などにより減収

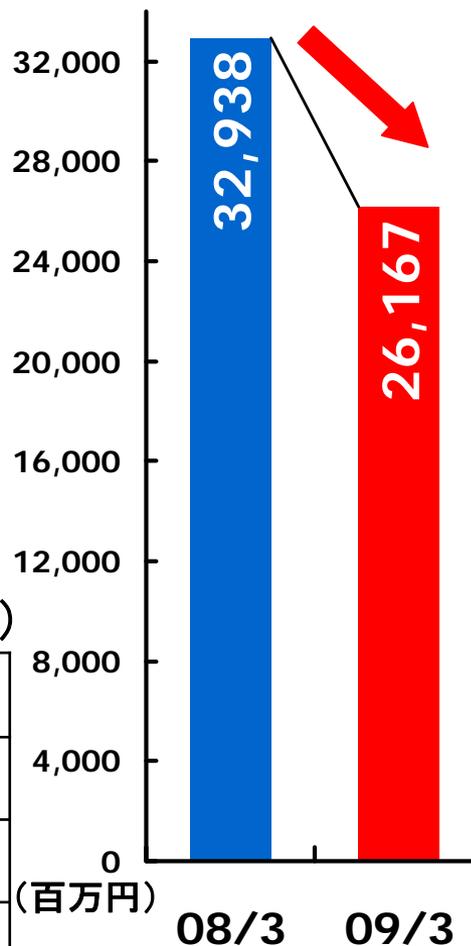
■利益:

- ◆粗利益率(20.0%)改善 +1.8%
- ◆大幅減収の影響が大きく減益
- ◆有価証券評価損(273百万円)の計上

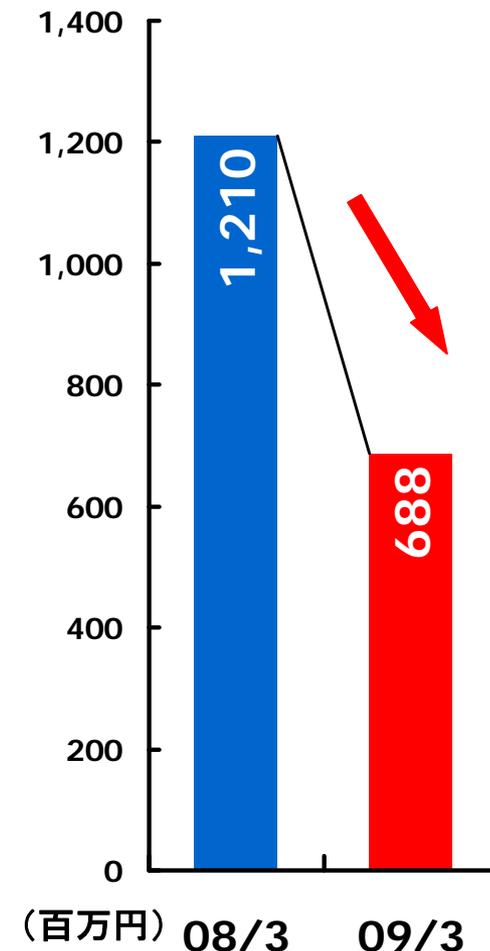
(百万円)

売上高	26,167	△20.6%
営業利益	456	△60.6%
経常利益	688	△43.1%
純利益	176	△26.5%

【売上高】



【経常利益】



2009年3月期 連結業績

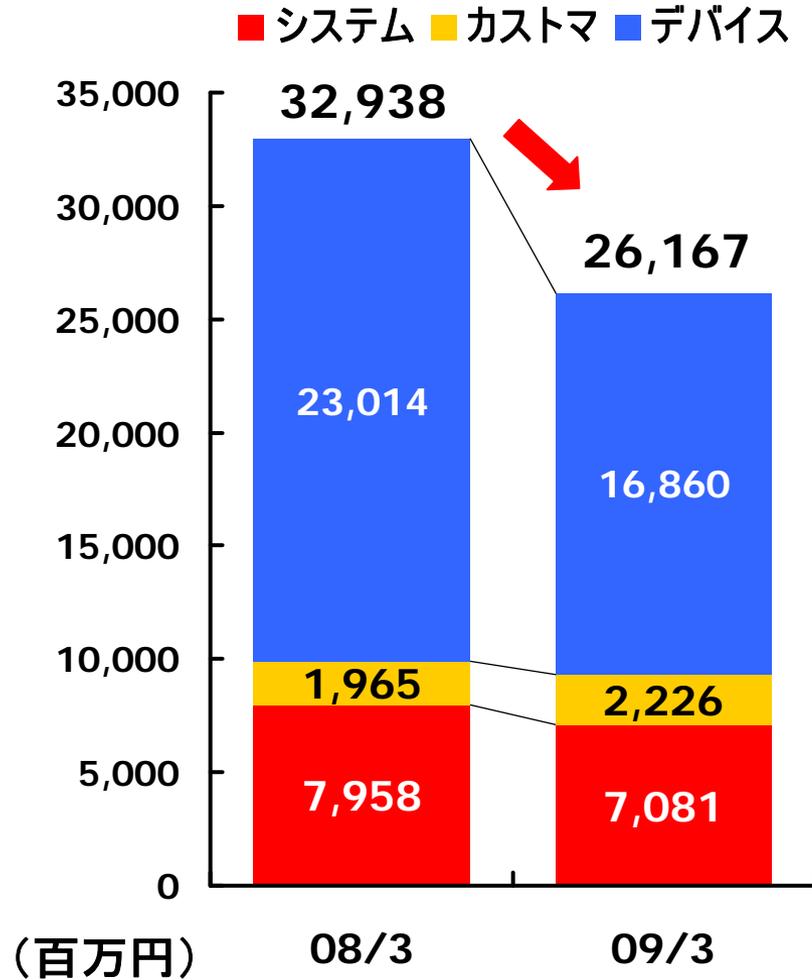
大手顧客の減産や設備投資の抑制の影響を受け、大幅減収

(百万円)

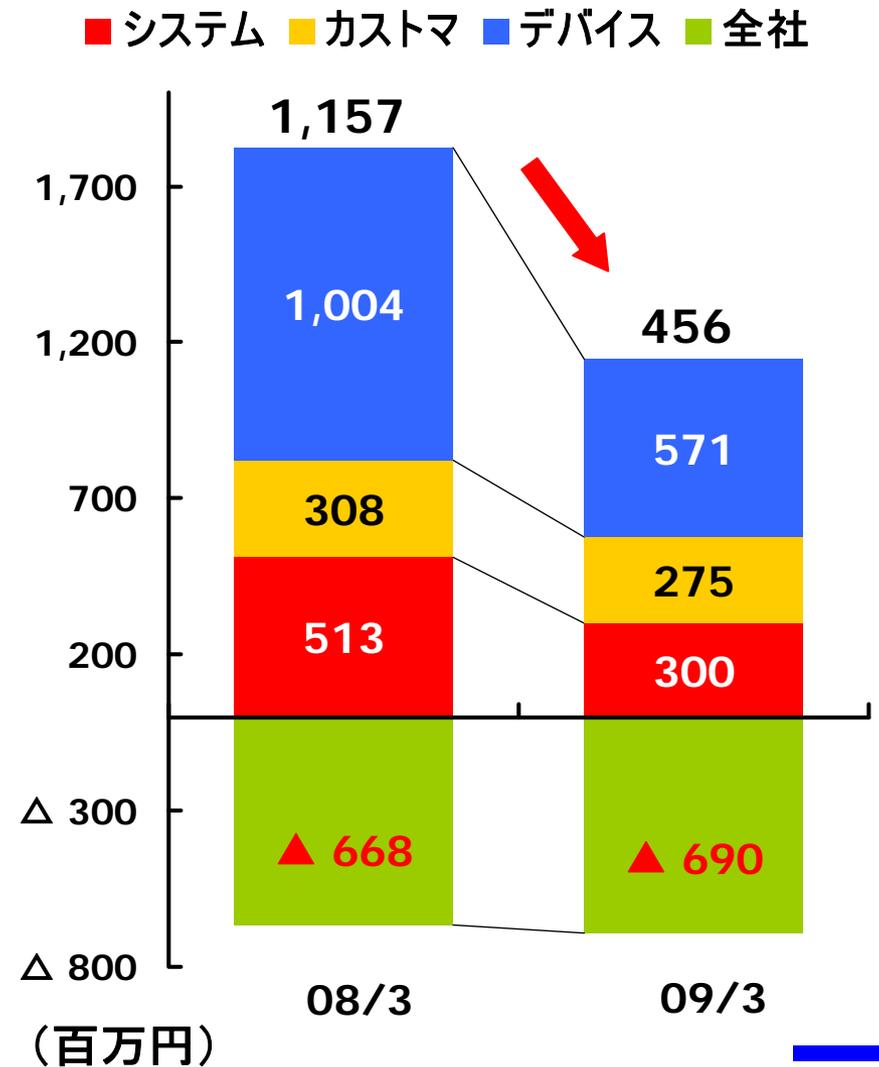
項目	08/3	09/3				
	実績	実績	売上比%	前期差	増減率%	
売上高	32,938	26,167	100.0	△6,770	△20.6	
粗利益	6,003	5,223	20.0	△780	△14.9	
粗利益率	18.2%	20.0%	-	1.8%	-	
販売管理費	4,846	4,767	18.2	△78	△1.6	
営業利益	1,157	456	1.7	△701	△60.6	
経常利益	1,210	688	2.6	△522	△43.1	
当期純利益	240	176	0.7	△63	△26.5	
人 員	358	368	-	10	2.8	

セグメント別業績

【売上高】



【営業利益】



資料:事業別セグメント業績

(百万円)

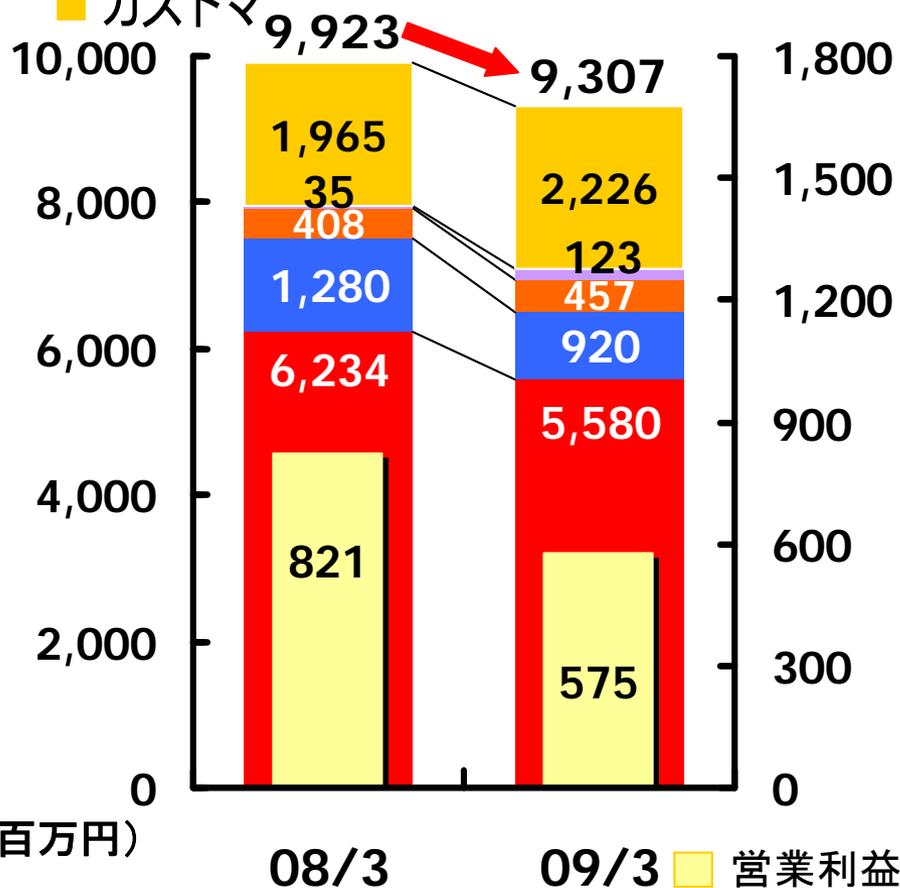
項目	08/3		09/3				
	実績	売上比%	実績	売上比%	前期差	増減率%	
売上高	32,938	100.0	26,167	100.0	△6,770	△20.6	
システム機器	7,958	24.2	7,081	27.1	△876	△11.0	
カスタマサービス	1,965	6.0	2,226	8.5	260	13.3	
デバイス	23,014	69.9	16,860	64.4	△6,154	△26.7	
営業利益	1,157	3.5	456	1.7	△701	△60.6	
システム機器	513	6.5	300	4.2	△213	△41.5	
カスタマサービス	308	15.7	275	12.4	△32	△10.6	
デバイス	1,004	4.4	571	3.4	△432	△43.1	
全社共通	△668	-	△690	-	△22	-	

注:各事業の営業利益売上比率は、対事業売上比率。

事業セグメント：システム機器＋カスタマ・サービス

【プロダクト売上高、セグメント営業利益】

- セキュリティ
- ネットワーク
- カスタマ
- メーリング
- その他

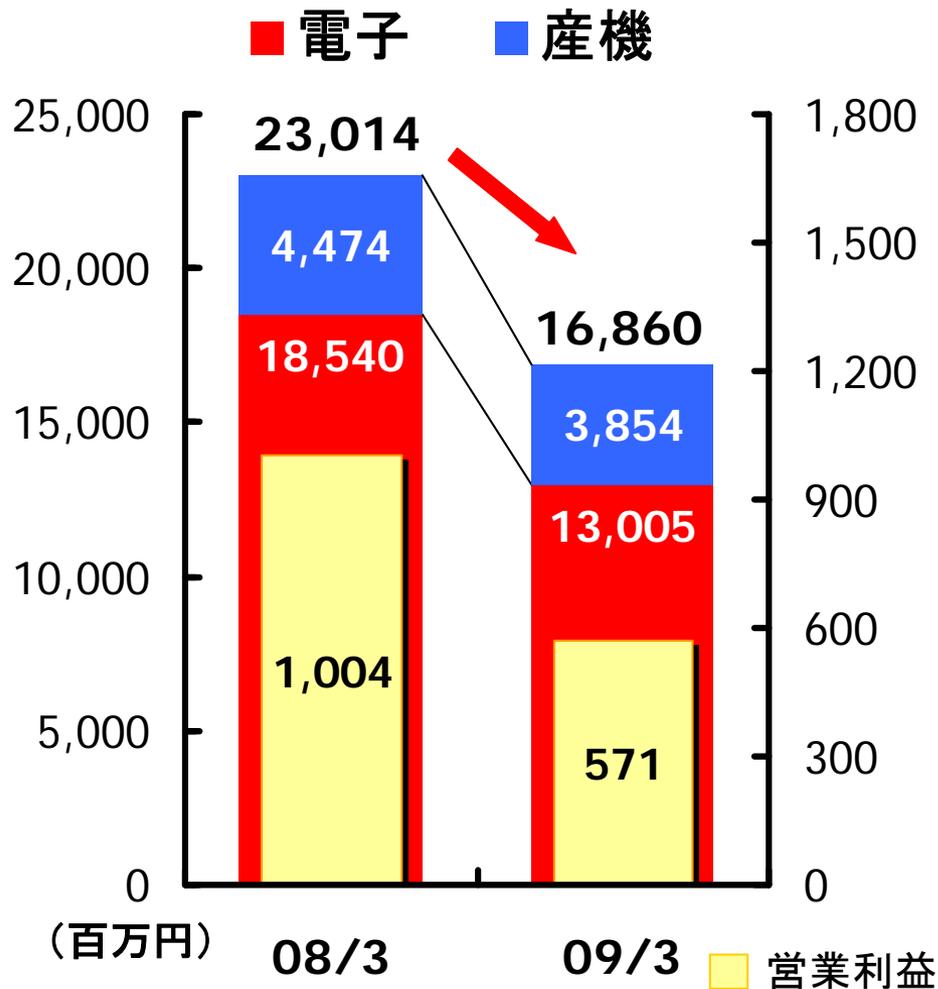


売上高・営業利益ともに減少
 売上高：前期比 $\Delta 6.2\%$
 営業利益：同 $\Delta 29.9\%$

- 売上高 減収要因
 - ⇒セキュリティ事業：GMS・メディア市場における販売の減少、新規開拓の低迷
 - ⇒メーリング事業：大型案件の一巡
- 営業利益 減益要因
 - 粗利益率の小幅低下と減収の影響が相俟って減益

事業セグメント: デバイス

【プロダクト売上高、セグメント営業利益】



電子の大幅減収の影響大きく、
売上高・営業利益とも大幅減少
売上高: 前期比 Δ 26.7%
営業利益: 同 Δ 43.1%

- 売上高減収要因
 - ⇒ 電子: 前期増加したモバイル液晶・PC・カーナビ向け半導体の販売が大きく減少
 - ⇒ 産機: 前期好調の自動機向け機構部品の販売が低調
- 営業利益減益要因
 - 電子が牽引する形で、粗利益率が改善したものの、大幅な減収の影響により減益

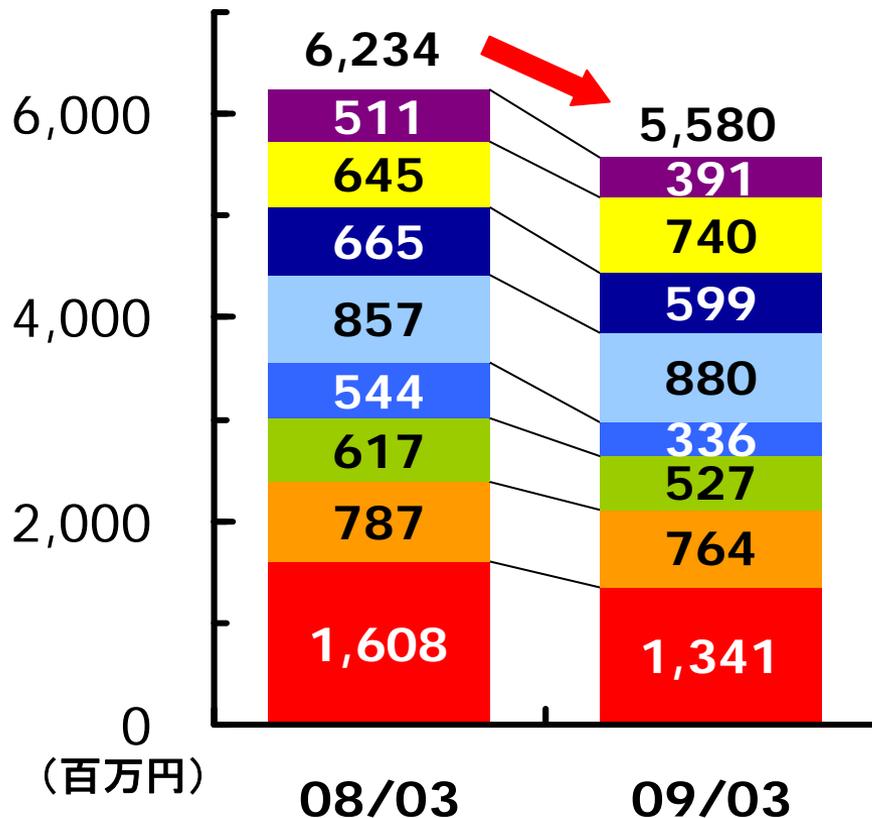
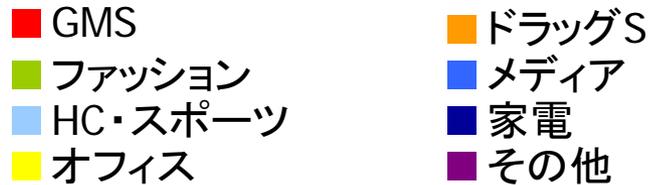
資料:プロダクト別業績

(百万円)

項目	08/3		09/3			
	実績	売上比%	実績	売上比%	前期差	増減率%
システム機器	7,958	100.0	7,081	100.0	△876	△11.0
セキュリティ	6,234	78.4	5,580	78.8	△653	△10.5
ネットワーク	408	5.1	457	6.5	49	12.0
メーリング	1,280	16.1	920	13.0	△360	△28.1
その他	35	0.4	123	1.7	88	253.1
デバイス	23,014	100.0	16,860	100.0	△6,154	△26.7
電子	18,540	80.6	13,005	77.1	△5,534	△29.9
産機	4,474	19.4	3,854	22.9	△620	△13.9
カスタマサービス	1,965	100.0	2,226	100.0	260	13.3

セキュリティプロダクト

設備投資抑制の動きが強まり下期失速

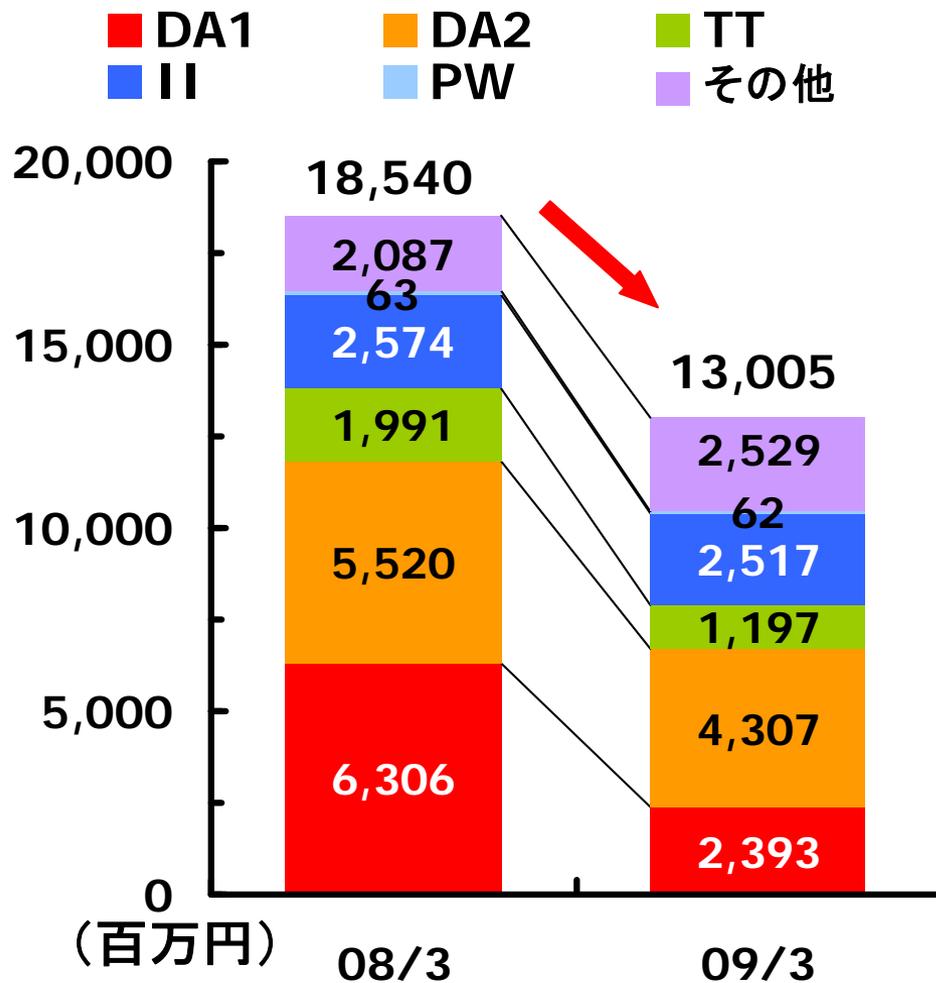


GMS・メディア市場が振るわず減収 ⇒前期比: Δ10.5%

- GMS市場において大型設備投資案件の減少
- メディア大手のリプレースが一巡
- ドラッグ・ストアへのEAS拡販
⇒都市型店舗への導入やリプレースの促進
- HCへのEAS販売が堅調
⇒既存顧客の買換需要の増加
- 入退室管理システム
⇒工場施設への納入が好調

電子プロダクト

民生品向け電子部品の売上が大きく減少



新規商品の販売加速も、
モバイル液晶向けが大幅減
⇒前期比: $\Delta 29.9\%$

- デジタル家電市場向けが低迷
⇒モバイル液晶やPC向けが大幅減
- カーナビ向け半導体が大幅減
- 新規商品の売上高が拡大
⇒HDD向けセンサーが大幅増
- 産業機器向けが堅調に推移
- その他市場が拡大
⇒アミューズメント向け案件獲得
- 低粗利案件の減少により粗利益率改善

メモ：電子プロダクト

市場区分

DA1：デジタルアプライアンス：モバイル系（携帯電話、デジタル・カメラ等）

DA2：デジタルアプライアンス（液晶テレビ、パソコン、プリンター等）

TT：テレマティックス（カーDVDナビゲーター等）

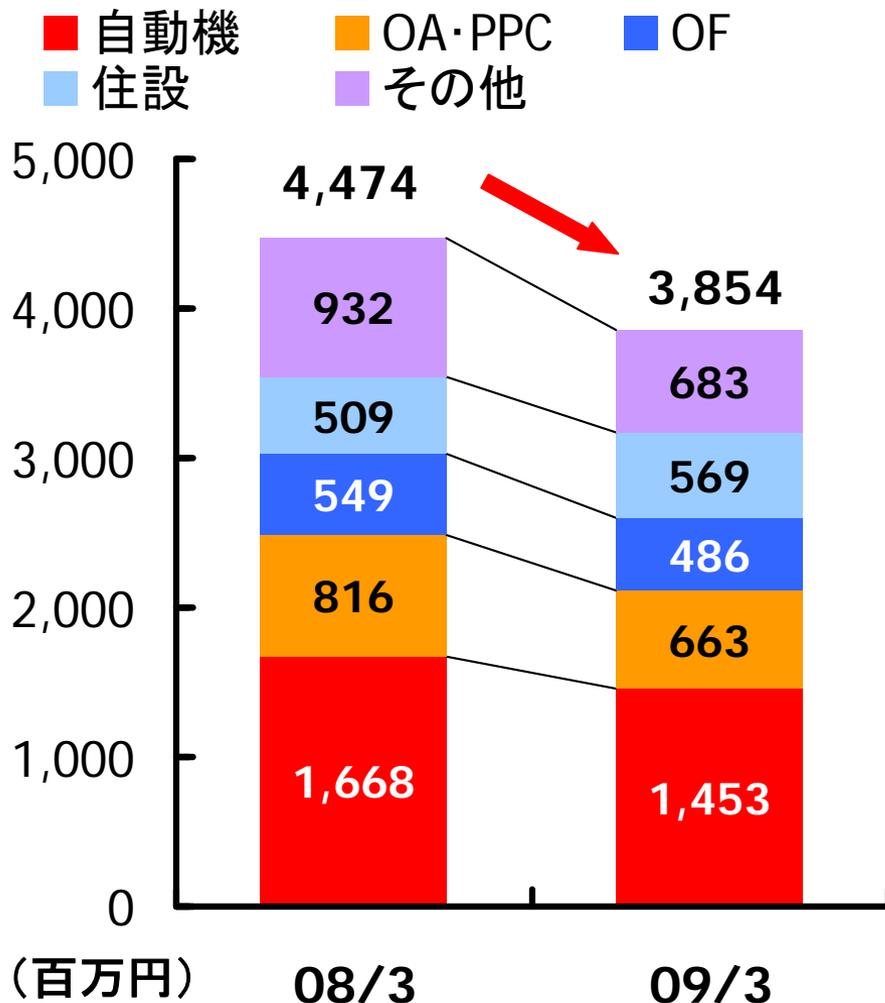
II：インダストリーインフラ（測定器、医療機器、放送設備、通信基地局等）

PW：パワー（電源関係）

その他：アミューズメント設備、代理店販売等

産機プロダクト

中国向け自動機の販売一服などにより減収



家電市場へ本格進出も、自動機向けなどの販売が不調
⇒ 前期比: $\Delta 13.9\%$

- 自動機: 下期以降、投資抑制の動きなどを受け販売低迷
- 複合機: 北米向けコピー機の輸出が停滞
- 住設: 白物家電向けの立上げやIHグリル向けの販売が好調
- オフィス家具: 大型ビル竣工の減少と投資の抑制を受け、需要期に量産ならず

メモ：産機プロジェクト

市場区分

自動機：ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

OA・PPC：複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF(オフィス家具)：キャビネット、机、椅子等

住 設：住宅設備、システムキッチン、白物家電、福祉機器、引き戸、昇降棚等

そ の 他：上記以外で半導体製造装置等産業機器、ゲーム機、アミューズメント設備、
車両、パチンコ台間機等

連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書

(百万円)

(百万円)

項目	08/3月末	09/3月末		
	金額	金額	構成%	増減
流動資産	16,894	15,052	86.6	△1,842
現金預金	3,275	4,769		1,494
売上債権	8,595	5,960		△2,635
商品及び製品	4,399	3,792		△607
固定資産	2,646	2,324	13.4	△321
資産計	19,540	17,376	100.0	△2,163
流動負債	4,956	2,963	17.1	△1,993
仕入債務	3,844	2,050		△1,794
固定負債	951	919	5.2	△32
純資産	13,632	13,494	77.7	△138
負債・純資産	19,540	17,376	100.0	△2,163

項目	08/3月末	09/3月末	
	金額	金額	増減
営業活動CF	1,067	1,912	844
税引前純利益	1,007	397	△610
売上債権増減	1,340	2,527	1,186
たな卸資産増減	△581	398	980
仕入債務増減	△339	△1,580	△1,241
法人税等支払	△643	△498	144
投資活動CF	△137	△31	106
投資有価証券取得	△207	△78	129
有価証券償還収入	100	100	—
財務活動CF	△173	△284	△110
配当金支払額	△279	△283	△3
現金・同等物増減	737	1,494	756
現金・同等物残高	3,275	4,769	1,494

株主還元について

年間28円配当 安定・継続的な配当を実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向：連結
2006年3月期	24円00銭	12円00銭	29.1%
2007年3月期	28円00銭	14円00銭	31.7%
2008年3月期	28円00銭	14円00銭	116.8%
2009年3月期	28円00銭	14円00銭	160.5%

※2009年3月末 株主数10,230名

今後の見通し



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2010年3月期 事業・収益構造変革の年

世界経済の悪化により企業収益が大きく減少した2009年3月期
当社もその煽りを受け大幅な減収・減益



不況下でも利益成長ができる企業への変貌のため、
2010年3月期は「**収益基盤の再構築**」に注力



- ① <営業力強化を企図した組織再編>
 - ⇒ 社長直轄の**営業本部**の設置
 - ⇒ **新規事業推進チーム**の設立
- ② <コスト構造の抜本的な見直し>
 - ⇒ 徹底した経費・在庫圧縮を実施
 - ⇒ 役員及び管理職の賃金カットを実施

2010年3月期 連結業績計画

減収計画も、粗利益率の改善、販管費の圧縮により
経常利益は前期比微減 (百万円)

項目	09/3		10/3			
	実績	売上比%	計画	売上比%	前期差	増減率%
売上高	26,167	100.0	21,100	100.0	△5,067	△19.4
粗利益	5,223	20.0	5,100	24.2	△123	△2.4
粗利益率	20.0%	-	24.2%	-	4.2%	-
販売管理費	4,767	18.2	4,480	21.2	△287	△6.0
営業利益	456	1.7	620	2.9	163	35.8
経常利益	688	2.6	630	3.0	△58	△8.5
当期純利益	176	0.7	330	1.6	153	87.0

2010年度3月期 連結業績計画

売上高減少も営業利益は増益、
経常利益は微減(前期比)

■売上高:

- ◆デバイス事業:粗利益率の低い民生向け電子部品の販売が大幅減少
- ◆システム機器事業:商品監視システムの拡販及び入店カウンターシステムなどの複合販売強化

■利益:

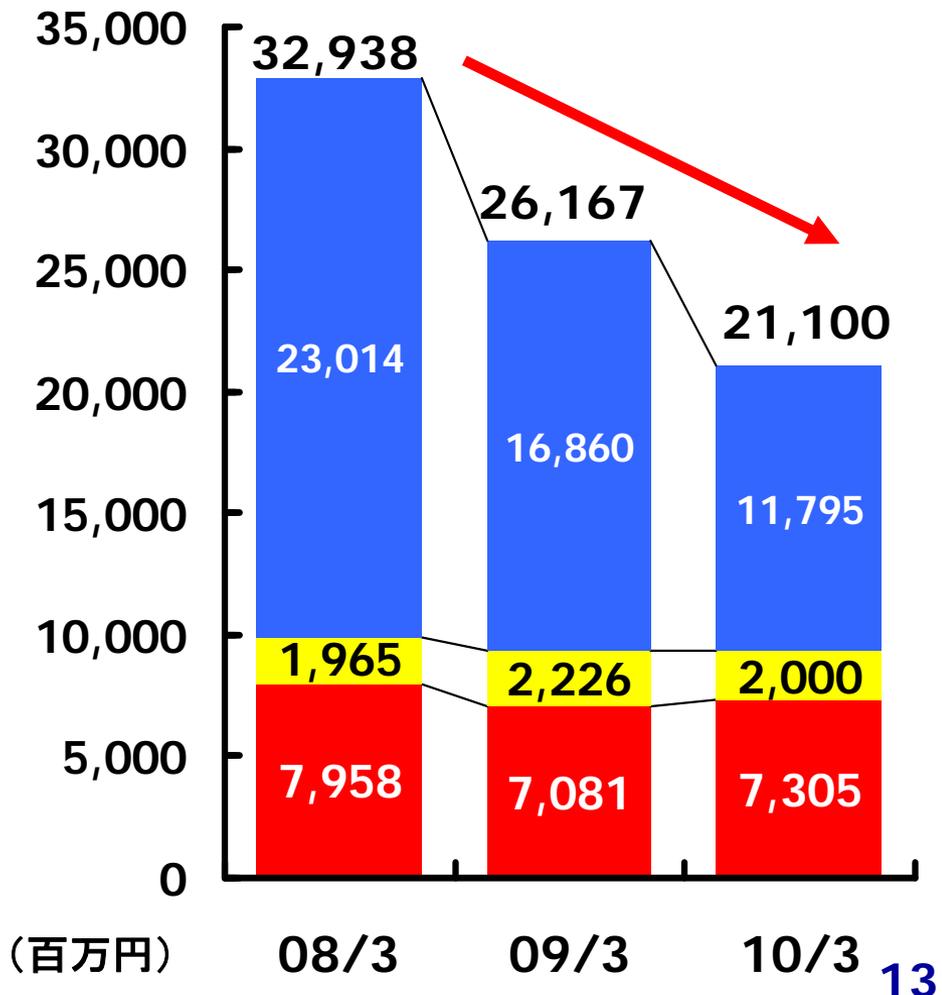
- ◆粗利益率の大幅改善(+4.2%)
- ◆販管費の圧縮(△6.0%)

(百万円)

売上高	21,100	△19.4%
営業利益	620	35.8%
経常利益	630	△8.5%
純利益	330	87.0%

【売上高】

■システム ■カスタマ ■デバイス



資料：事業セグメント別計画

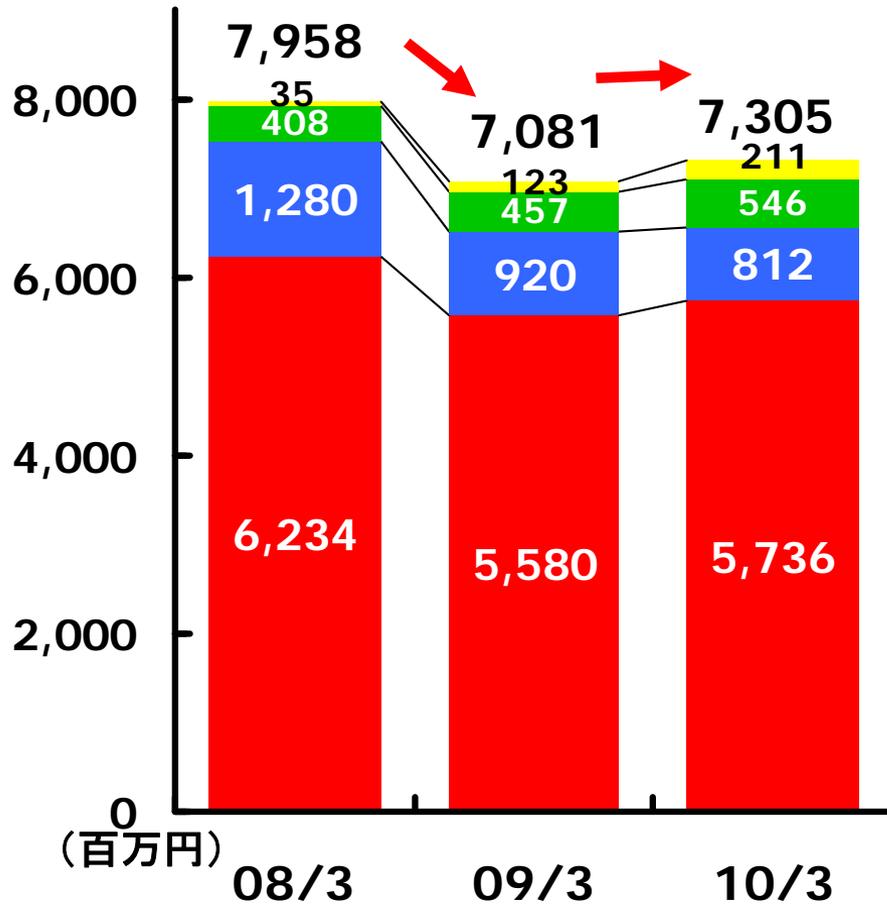
(百万円)

項目	上期計画	下期計画	通期計画	売上比%	前期差	増減率%
売上高	9,832	11,268	21,100	100.0	△5,067	△19.4
システム機器	3,505	3,800	7,305	34.6	223	3.2
デバイス	5,368	6,427	11,795	55.9	△5,065	△30.0
カスタマS	959	1,041	2,000	9.5	△226	△10.2

事業セグメント別販売計画

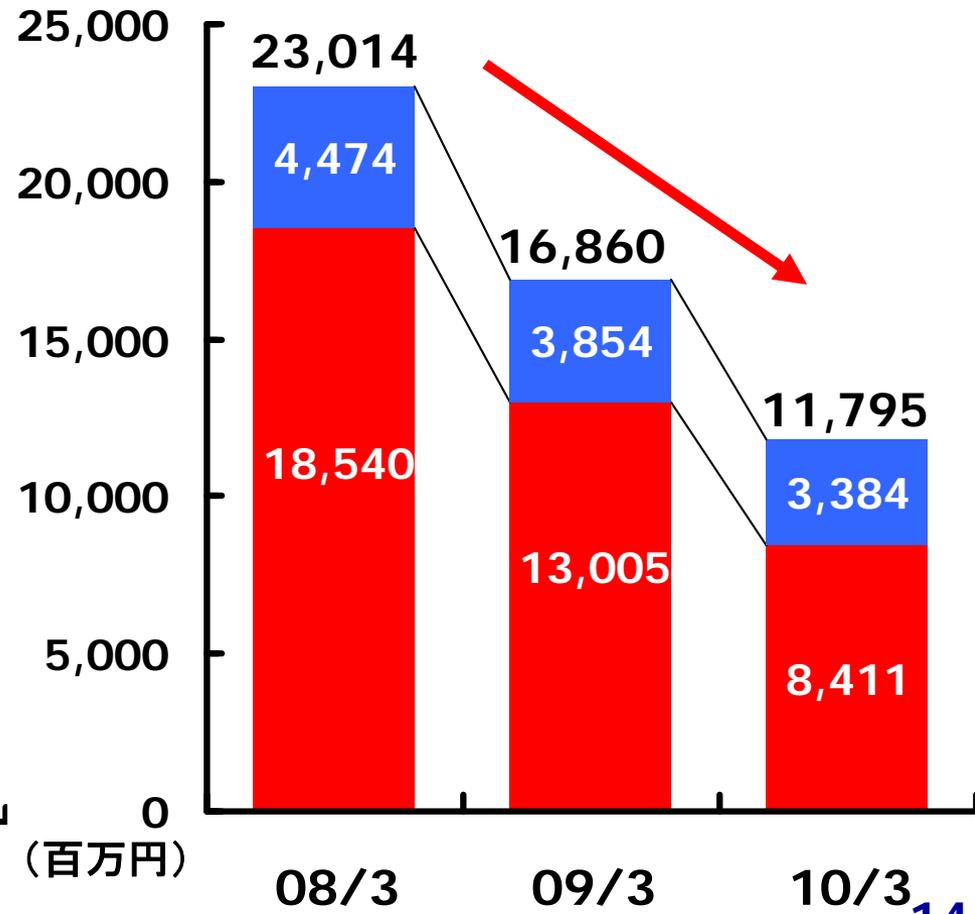
【システム機器売上高】

- セキュリティ
- ネットワーク
- メーリング
- その他

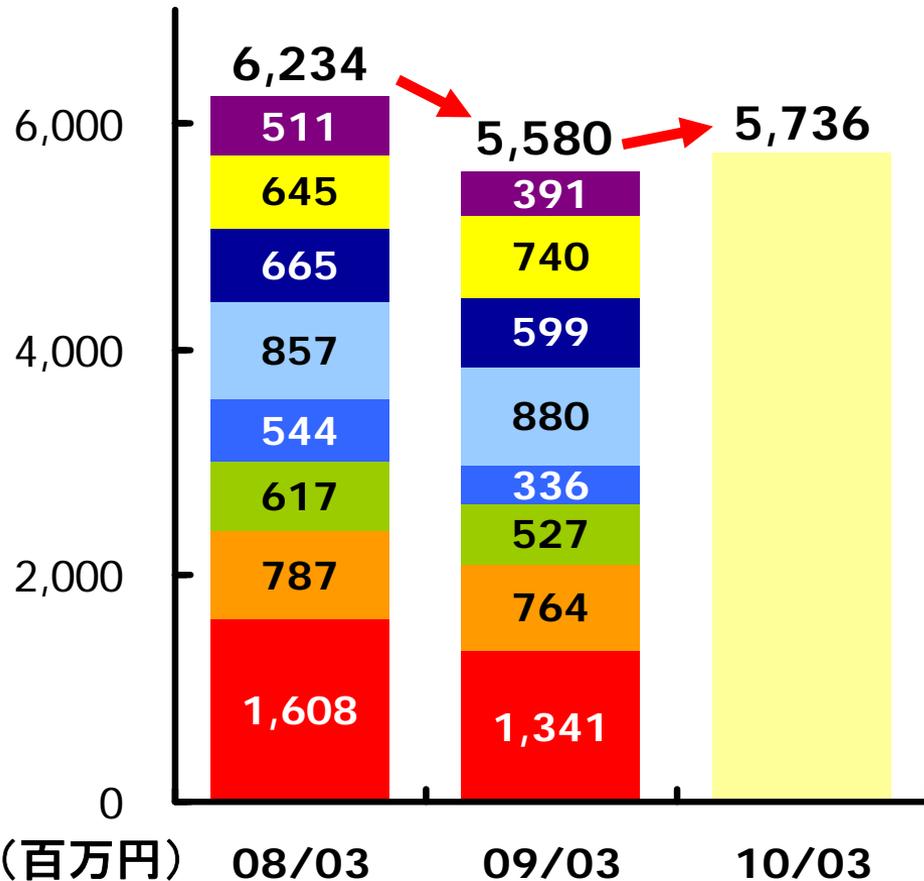
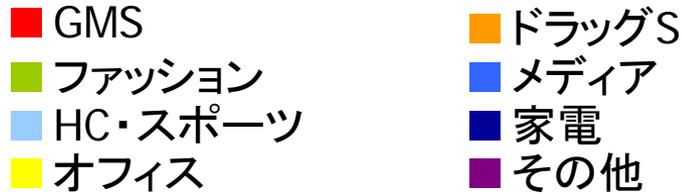


【デバイス売上高】

- 電子
- 産機



セキュリティプロダクト販売計画



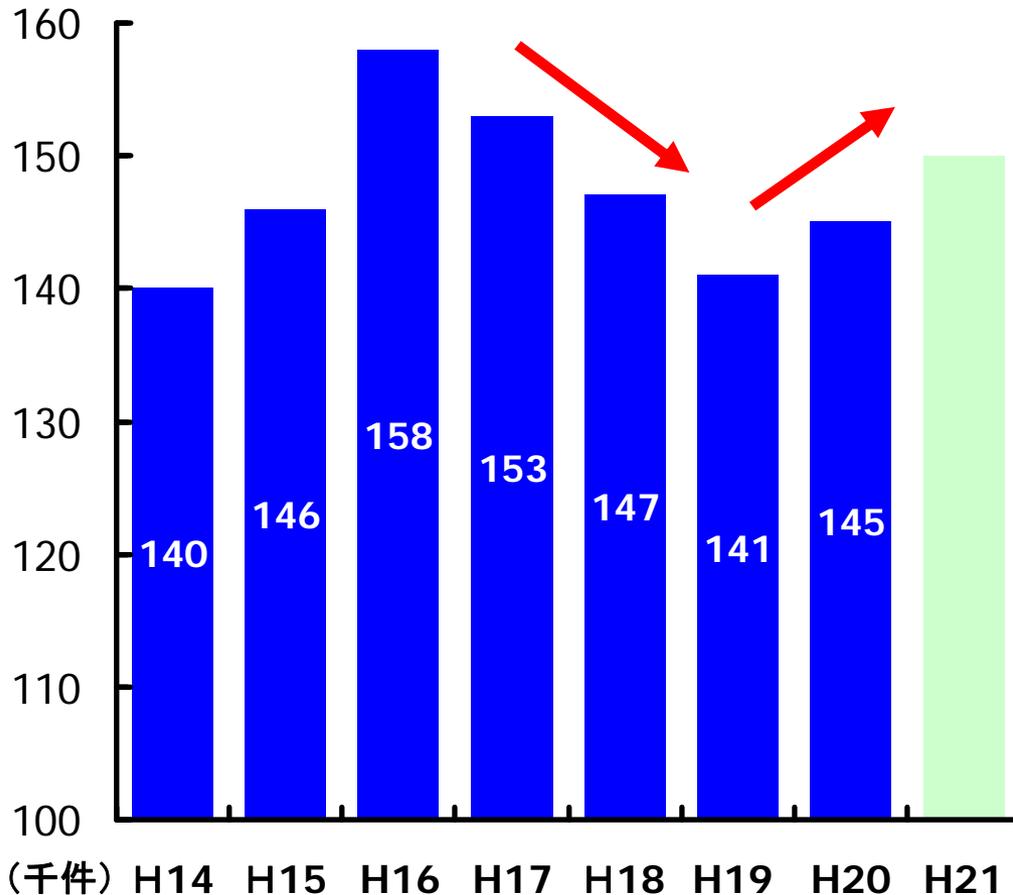
商品監視システムの拡販と映像監視システムの複合販売強化
⇒ 前期比: +2.8%

- EAS市場新規開拓の推進
 - ⇒ ファッション市場など低普及率市場への積極的展開
 - ⇒ 書籍市場の新規開拓
 - ⇒ 競合市場の攻略
- 映像監視システムの積極的展開
 - ⇒ 映像解析・画像処理分析を利用したセキュリティソリューションの拡販
- 入退室管理システムの拡大
 - ⇒ 一般オフィスやその他施設向けへの拡販

セキュリティソリューションのニーズ高まる

景気の悪化を背景に万引き認知件数が増加に転じる

【万引認知件数】



前期比+2.5%増

小売業において
EASや監視カメラなどの
セキュリティソリューションの
ニーズ高まる

※H21年1～3月期の速報値は35千件と、
前期実績を6.7%上回る。

<警察庁統計資料>

不況下でも拡大を続けるオフィスセキュリティ事業

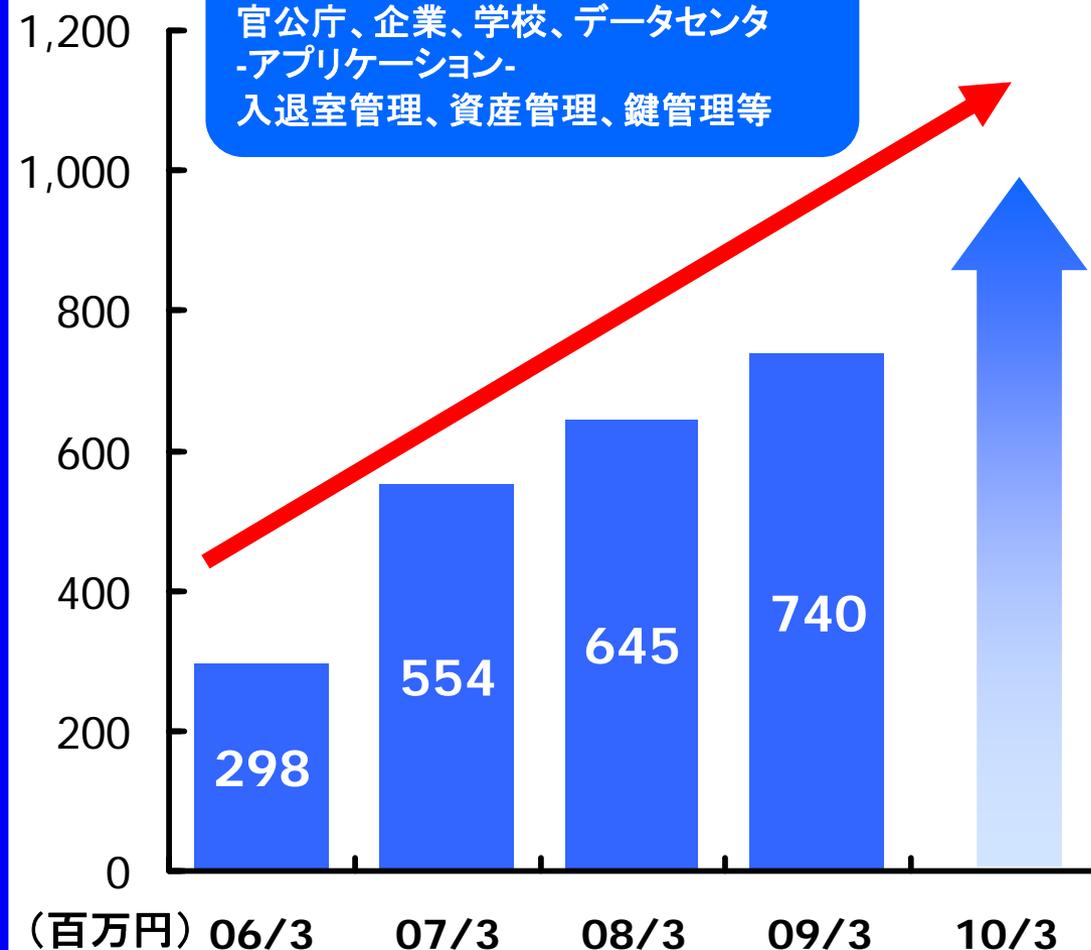
企業向けソリューションをシステム機器事業の第2の柱に展開

-重点市場-

官公庁、企業、学校、データセンタ

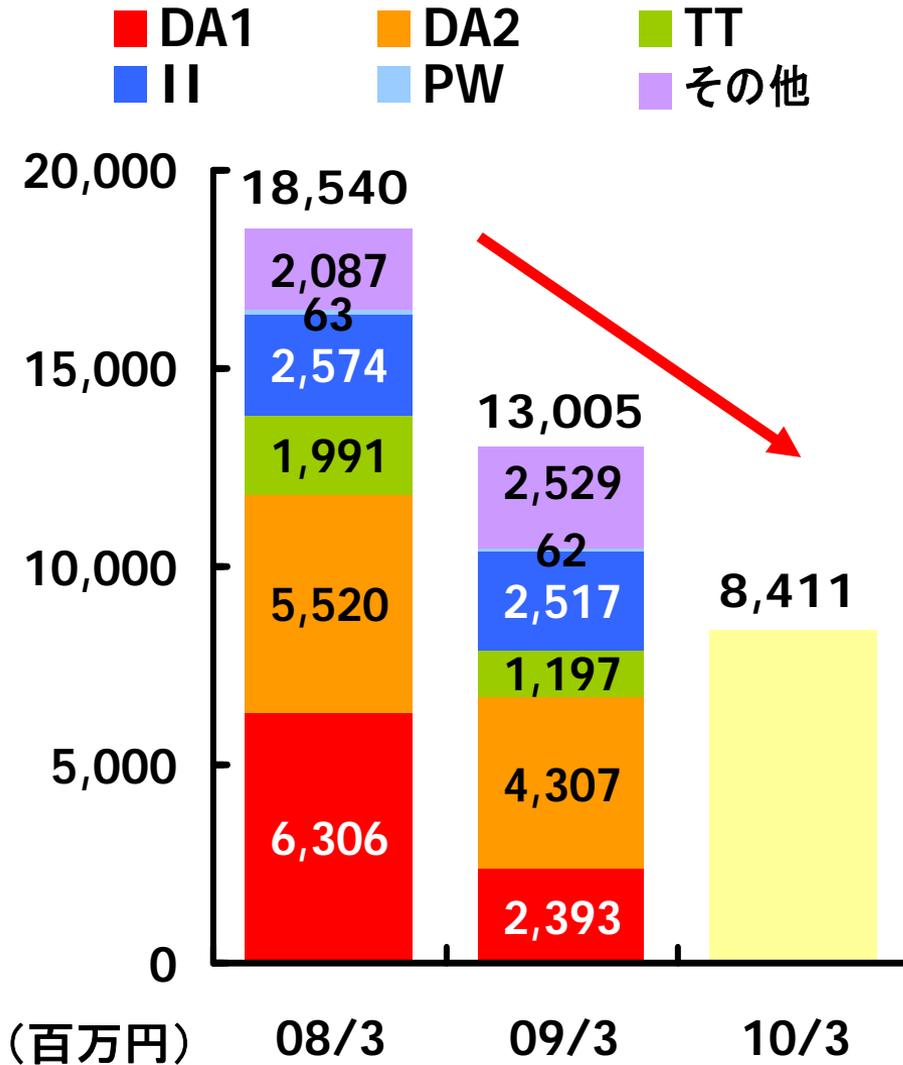
-アプリケーション-

入退室管理、資産管理、鍵管理等



- 入退室をコアに広がるソリューション
 ⇒ 入退室S(TYCO、ハネウエル)
 世界2大メーカーをラインナップ
 ⇒ 資産持ち出し防止
 ⇒ 鍵管理・ゲートシステム等
- 資産持ち出し防止
 ⇒ 従来のEAS技術を応用した資産持ち出しに加え、RFIDによる個別管理も展開
- LTO(磁気テープメディアデバイス)への
 ソースタギングがすでに実現

電子プロダクト

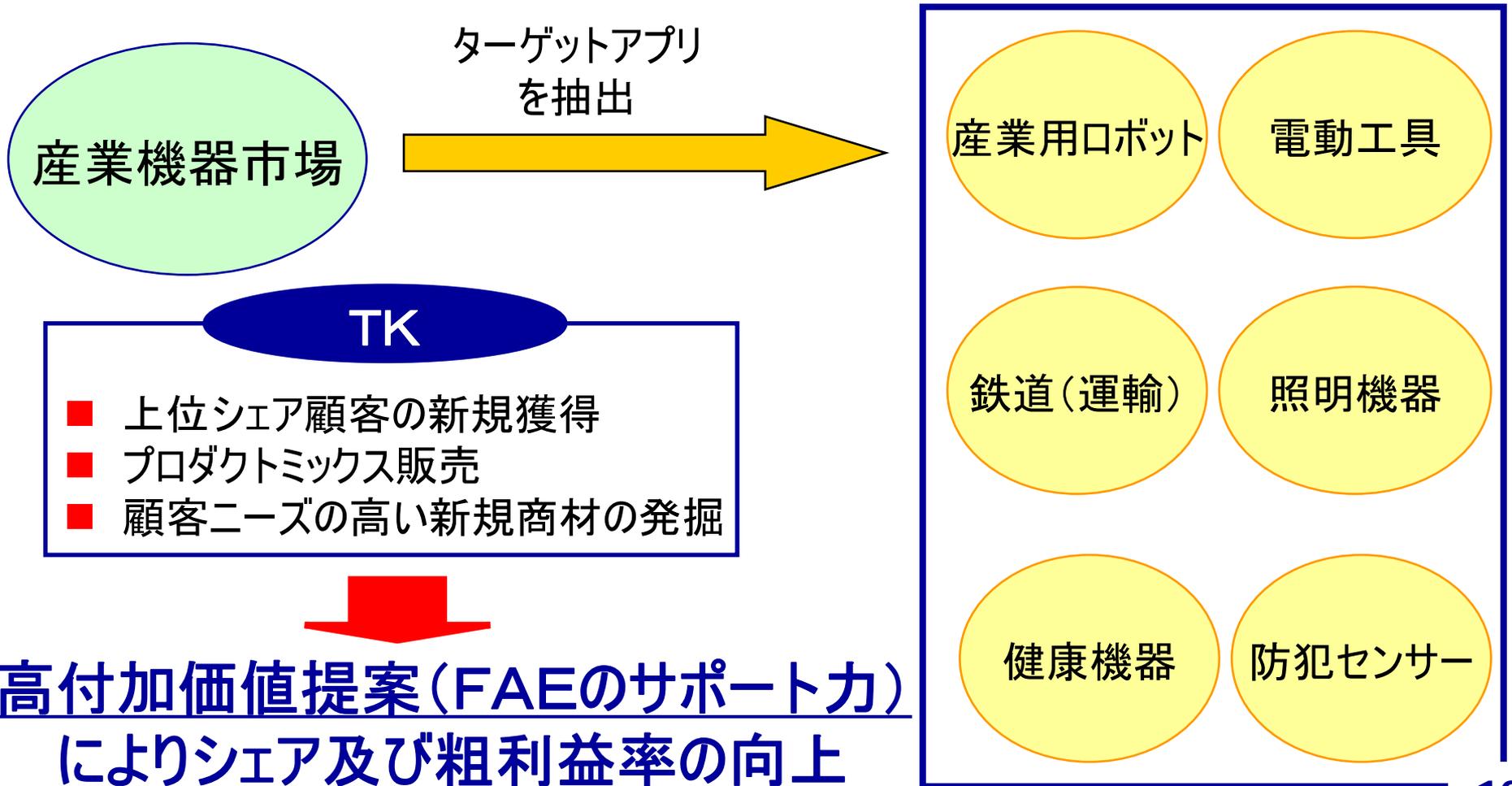


-不透明感ぬぐえない市況-
 引続き厳しい市況が見込まれる中
 収益力強化に重点
 ⇒ 前期比: $\Delta 35.3\%$

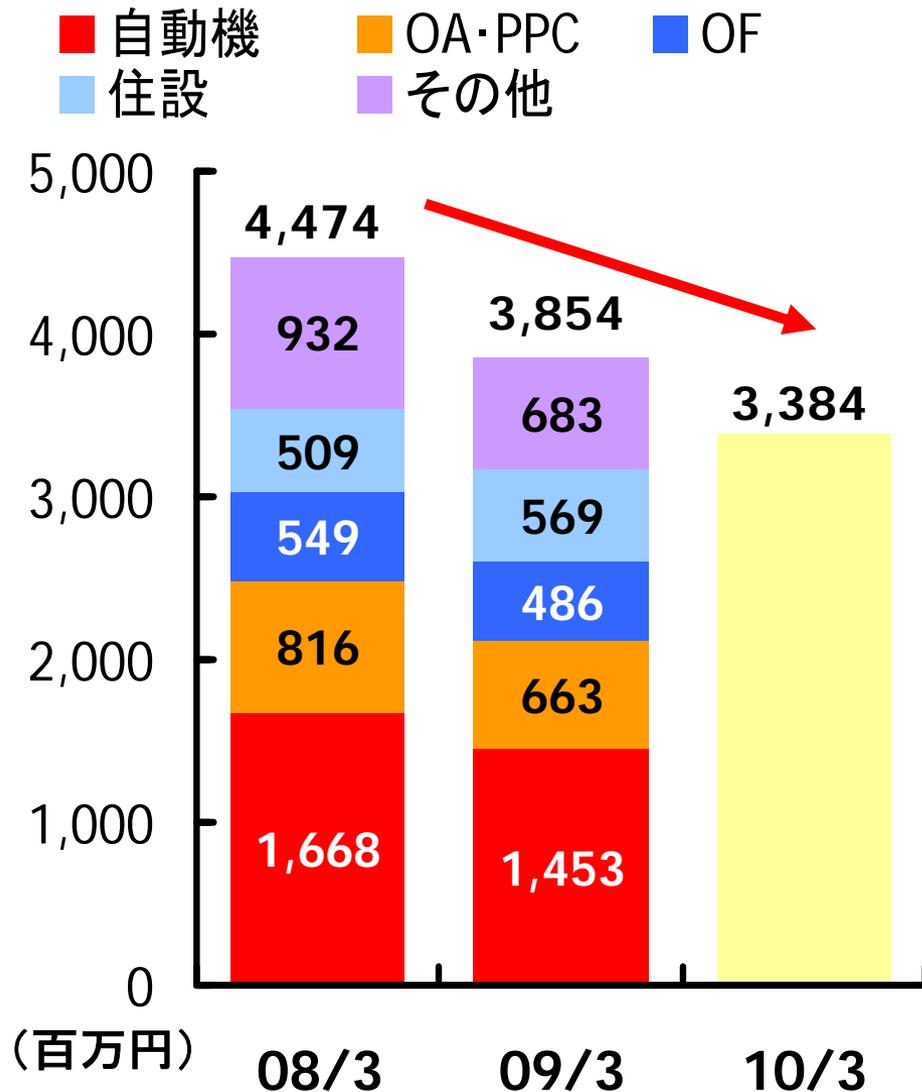
- 産業機器向けなどの強化により収益性改善
 ⇒各アプリに特化したアプリケーションセグメントセールスの展開
 ⇒取扱商品を複合的に販売(プロダクトミックス)
- アミューズメント市場の横展開推進
- 民生品向け需要減少
 ⇒低粗利案件減少により、粗利益率の上昇

拡大を目指す産業機器分野市場

アプリケーションセグメントセールスの展開



産機プロダクト



-新市場・新アプリの開拓強化-
顧客の減産が続く中、将来の成長へ向けた基盤の構築
⇒ 前期比: $\Delta 12.2\%$

- 海外ビジネスの積極展開
⇒ 米国自動機メーカーへの販売を強化
⇒ 複写機市場の中国展開強化
- 新規商材の積極投入
⇒ 複写機やオフィス家具向けの新規商材の早期リリース
- 住宅設備市場の拡大
⇒ IH向けに加え、白物家電向けなどの商品拡販
- 第5の市場の確立へ
⇒ 専任部隊による販売強化

新規事業推進チームの設立

RFIDビジネスの強化・拡大

- RFID図書館システム
⇒西東京市図書館全館導入
今後公立図書館や大学などへ更なる導入を見込む
- スクールセキュリティシステム
⇒四天王寺学園小学校(大阪府藤井寺市)へ納入
(2009年4月)



自動貸出システム



スクールセキュリティシステム

ストアソリューションの積極展開

- 入店カウンターの拡販
⇒商業施設を中心に販売を加速
- 新規商材の積極的投入
⇒顧客ニーズを捉えた新規商材の投入



入店カウンターによる
データ化イメージ

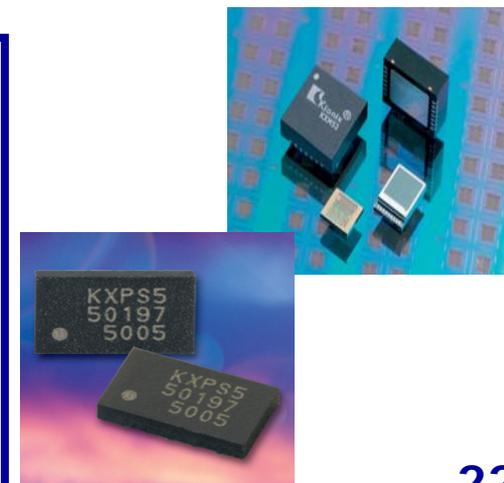
トピックス: 電子部品の新規アプリへの採用

アミューズメント向けへの採用

- パチンコ遊技機メーカーへ、既存商品の新規採用
 - ⇒ 2009年3月期業績に大きく寄与
 - ⇒ 今期も継続納品と他メーカーへの横展開を見込む

加速度センサの開発提案が結実 HDDに採用・量産

- 米国Kionix社製加速度センサが国内大手3社のHDDに採用・量産
 - ⇒ 加速度センサの落下シミュレーション用デモキットを開発し提案を行うなど、当社の高度な技術支援体制が評価された好例



TKグループの中期経営目標

《事業規模》 売上高 **500 億円** 経常利益 **50 億円**

《社会貢献》 「安全・安心・快適」で豊かな未来を拓き社会に貢献

《満足度》 顧客・株主・従業員 「利益還元」と「信頼構築」

2010年3月期の経営課題

「収益基盤の再構築」
損益分岐点の引き下げ

成長戦略の加速
積極的投資 柔軟な組織

既存事業拡大

- 新商材・サービスの発掘

アジアビジネスの拡大

- デバイス: アジア企業へのビジネス開始
- セキュリティ製品でのアジア進出

新規事業の立上げ

- 新規事業の立上げ・M&A
- ストアソリューションによる事業領域の拡大

+

＜中期経営目標＞

売上高 **500億円**
経常利益 **50億円**

世界経済の
悪化

先送り

(年度)

2006

2008

2010

23

ありがとうございました。



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.